

安心して暮らせる町へ

令和2年度各会計予算

区分	令和2年度	令和元年度	対前年度	
一般会計	64億6,768万7千円	61億8,827万1千円	+4.5%	
学校給食センター事業特別会計	1億7,583万1千円	1億6,506万7千円	+6.5%	
国民健康保険事業特別会計	18億5,031万6千円	17億8,773万2千円	+3.5%	
農業集落排水事業特別会計	1億6,026万4千円	1億3,279万4千円	+20.7%	
介護保険事業特別会計	15億8,572万7千円	13億4,544万9千円	+17.9%	
後期高齢者医療特別会計	2億553万円	1億9,413万6千円	+5.9%	
多古中央病院事業会計	収益的収入	26億4,519万4千円	25億5,611万5千円	+3.5%
	収益的支出	26億4,519万4千円	25億5,611万5千円	+3.5%
水道事業会計	収益的収入	3億5,539万1千円	3億4,831万9千円	+2.0%
	収益的支出	3億4,760万4千円	3億5,176万1千円	-1.2%

●町税 20億2000万8千円
 ●地方譲与税 8293万4千円
 ●国庫支出金 4億8433万円
 ●町債 2億2610万円

歳入では、主要事業として
 ●病児保育事業 1373万1千円
 ●子ども医療扶助及び高校生等医療扶助事業 4230万円
 ●安心安全なまちづくり防犯対策事業 574万4千円
 ●庁舎等停電対策事業 3602万円

などの予算計上となりました。
 (注目事業は4頁に掲載)

このほかの、国民健康保険事業や介護保険事業などの5特別会計

子育て支援・台風災害を教訓とした新年度予算

令和2年第1回定例会を3月3日から3月17日までの15日間の会期で開催し、一般会計を含む8件の新年度予算のほか、専決処分の承認1件、条例の改正5件、補正予算7件等の審議を行い、全て原案どおり可決しました。また、一般質問には4議員が登壇しました。(審議の結果は10頁に掲載)



4月から開所となった多古病児保育所

新年度予算については、議員全員で構成する予算審査特別委員会を設置し、詳細な審査を行いました。(6～8頁に掲載)

新年度予算については、議員全員で構成する予算審査特別委員会を設置し、詳細な審査を行いました。(6～8頁に掲載)

病院の存続と充実を求めて 意見書を可決

3月17日、昨年9月の厚生労働省による公表を受け、国保多古中央病院の存続・充実を求める意見書案が議決され、賛成全員で可決しました。可決した意見書の要旨は次のとおりで、町議会として関係機関へ提出します。

発議案第1号 国保多古中央病院の存続・充実を求める意見書

厚生労働省は「再編・統合の議論が必要」とする424の病院名を公表し、その中に国保多古中央病院も含まれているが、町民や近隣市町住民の命と健康、福祉の増進に寄与し、「医療介護総合確保推進法」を踏まえ、病院・病床機能の再編にも真摯に取り組む、昨年の災害時には公的病院の役割を発揮した。町民の共有財産であり、医療・介護・福祉の拠点である国保多古中央病院を「再編・統合」することは地域創生に努力している現場の願いと逆行するものと危惧を抱く。

よって厚生労働省が公表した「424病院」から国保多古中央病院を除外するとともに、自治体単独では困難な医師確保等に対する支援や、存続・充実を強く求める。



元気いっぱい外で遊ぶぞ！（多古こども園）